

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
215	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Smoking and alcohol use during pregnancy and age of menarche in daughters. 妊娠中の喫煙と飲酒とその娘の初経年齢との関連について	
<b>執筆者</b>	
Shrestha A, Nohr EA, Bech BH, Ramlau-Hansen CH, Olsen J.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Hum Reprod. 2011; 26: 259-65.	
<b>キーワード</b>	
初経年齢、妊娠中の喫煙、妊娠中の飲酒	
<b>要 旨</b>	
<b>目的：</b> 胎児期の喫煙、飲酒が子の青年期の初経時期を早めるかについて評価すること。	
<b>方法：</b> 1984年4月から1986年4月に生まれた3,169人のデンマーク人を対象とし、胎児期の喫煙、飲酒の暴露と子の青年期の初経の関連について、i)初経の年月が判明している群 (n=1,634)、ii)少なくとも初経の年が判明している群 (n=3,169)において、線形回帰モデルを用いて評価した。	
<b>結果：</b> 初経の年月が判明している群において、非暴露の子と比較して、共変量を調整後、母親の妊娠中における1日10本以上の喫煙は、子の初経を2.8カ月早め(95%信頼区間 CI 0.4-5.3)、妊娠中の時々の禁煙は、子の初経を4.1か月早めた(95%CI 0.5-7.7)。母親の妊娠中における1日1-9本の喫煙および父親の喫煙については、関連は低かった。妊娠前の喫煙、少年期の喫煙、妊娠中の飲酒と初経年齢については、関連がなかった。	
<b>結論：</b> 妊娠中の母親の過度の喫煙は、子の出生前における初経年齢のプログラミングにおいて重要である。	